

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-66174

(43)公開日 平成 6年(1994) 9月16日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 N 5/225

Z

G 0 3 B 17/53

7256-2K

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号

実願平5-14958

(22)出願日

平成 5年(1993) 2月22日

(71)出願人 592000646

セキエレクトロニクス株式会社

東京都八王子市子安町 4丁目27番 6号

(72)考案者 会川 利一

東京都八王子市万町23番の 2 セキエレクトロニクス株式会社内

(72)考案者 昆 崇

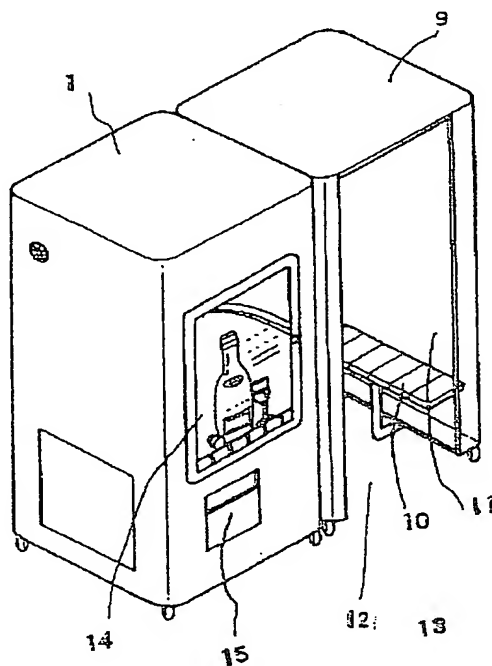
東京都八王子市万町23番の 2 セキエレクトロニクス株式会社内

(54)【考案の名称】 ポートレート撮影装置

(57)【要約】

【目的】受験用・証明用などのポートレートの撮影装置内の撮影室内で複数の被撮影者が並んで撮影可能とする。

【構成】被写体の映像を撮影機に誘導する光学装置、この光学装置に撮影される被写体の像を確認することができる視認装置部、前記光学装置の映像を印字記録するプリンタなどを備えた撮影装置本体と、前記光学装置の撮影位置に、大きさが二人または二人以上の被撮影者が腰掛けることのできる長椅子を設置し、出入口に開閉部材を吊設した撮影室とから構成されるポートレート撮影装置。



【実用新案登録請求の範囲】

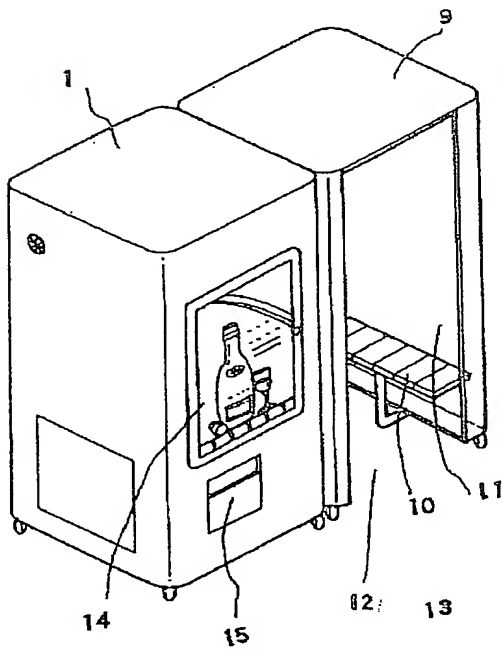
【請求項 1】被写体の映像を撮影機に誘導する光学装置、この光学装置に撮影される被写体の像を確認することができる視認装置部、前記光学装置の映像を印字記録するプリンタなどを備えた撮影装置本体と、前記光学装置の撮影位置に被写体が腰掛ける椅子を配設し、出入口に開閉部材を吊設した撮影室とを有するポートレート撮影装置において、

撮影室内の前記椅子の大きさが二人または二人以上腰掛けることができるように形成されていることを特徴とするポートレート撮影装置。

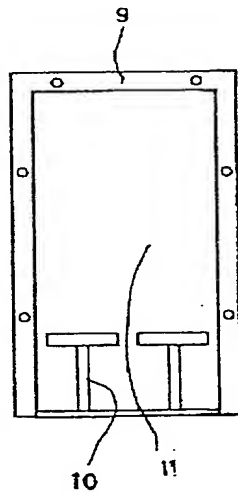
【図面の簡単な説明】

【図 1】この考案にかかるポートレート撮影装置の一実施例の斜視図である。この考案にかかる合成写真撮影装置の分割状態を示す斜視図である。

【図 1】



【図 2】



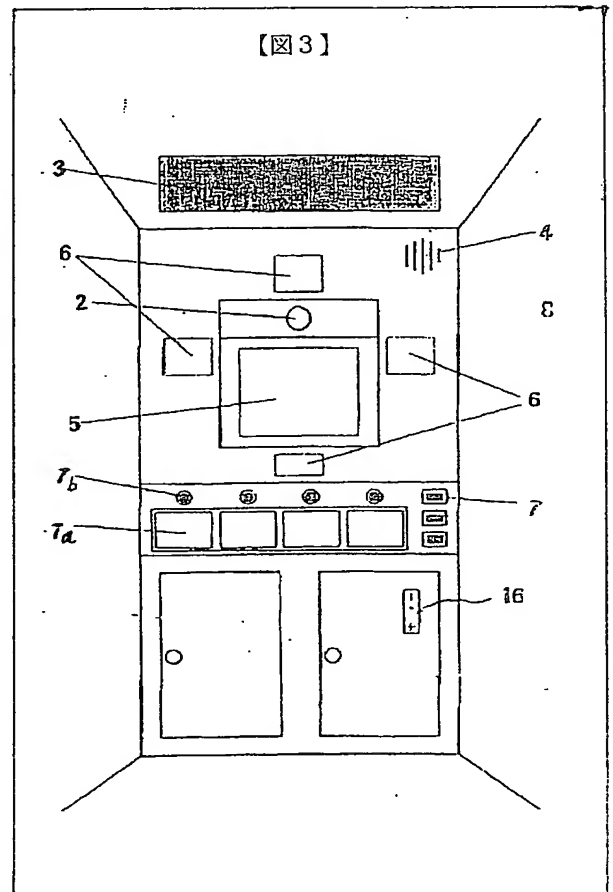
【図 2】この考案の他の実施例を示す概略図である。

【図 3】この考案の実施例の撮影装置本体の正面図である。

【符号の説明】

- 1 …箱体
- 2 …電子カメラ
- 3 …照明灯
- 4 …スピーカ
- 5 …モニタ部
- 6 …ストロボ発光灯
- 7 …操作盤
- 8 …撮影装置本体
- 9 …撮影室
- 10 …長椅子
- 11 …壁面

【図 3】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

この考案は、被撮影者が撮影装置の光学レンズの撮影範囲内の椅子に腰掛けて自分の姿態を撮影するポートレート撮影装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

百貨店・コンビニエンスストアの一角、屋上や駅周辺の街路上等に受験用、免許証などの証明用写真またはパスポート用写真を作成する箱型のポートレート撮影装置が配置されて一般に利用されている。このような簡易型撮影装置は撮影装置本体と、この撮影装置の光学装置の撮影範囲に、一個の昇降自在の椅子が設置され、出入口に開閉できるカーテンなどが吊架した撮影室とから形成され、これらは一個の建物として一体に形成されており、自動販売機などと同じく床上にブロックを配置して水平に載置し、ボルト等により固定して設置されていた。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

しかし、このようなポートレート撮影装置は通常証明用であるため一人が腰掛ける椅子があれば充分であるが、男女のアベックの二人や友達同志二人以上同時に撮影することは困難であり、不便であった。

この考案の目的は二人または二人以上の被写体が光学装置の前に並んで撮影可能なポートレート撮影装置を提供するものである。

この考案の他の目的は撮影位置に複数の被写体が腰掛けることのできる長椅子や二人掛け椅子を固定したポートレート撮影装置を提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

この考案の前記目的は被写体の映像を撮影機に誘導する光学装置、この光学装置に撮影される被写体の像を確認することができる視認装置部、前記光学装置の映像を印字記録するプリンタなどを備えた撮影装置本体と、前記光学装置の撮影位置に被写体が腰掛ける椅子を配設し、出入口に開閉部材を吊架した撮影室とを

有するポートレート撮影装置において、前記撮影室内の椅子の大きさが二人または二人以上腰掛けることできるように形成された構成によって達成できる。

【0005】

【作用】

この考案のポートレート撮影装置は、撮影装置本体に設置した光学装置の光学レンズの焦点位置の撮影範囲内に被写体の二人または二人以上腰掛ける椅子、例えば、長椅子を配置してあるから、一人の撮影は勿論可能であるが、男女のアップや二人以上の友達同志が並んだ状態で腰掛けて撮影することができる。

被写体である被撮影者が光学装置の撮影範囲内に配置した椅子に腰掛けた状態のまま手元の操作部材を操作して、例えば、複数のスイッチを押すという単純な操作で電子カメラの駆動機構を制御して、撮影装置の光学カメラや電子カメラ等の撮影機の光軸を移動させて、撮影装置の位置を移動させて被写体の撮影される適正な範囲を被写体自身が移動することなく、被撮影者自身が撮影装置に設けた視覚確認装置で撮影範囲を確認しながら光学レンズの光軸を調整する。従来のように被撮影者が椅子から離れたり、座って目の高さ位置および撮影範囲を調節することなく、被撮影者が椅子に座った状態のまま撮影装置または／および位置確認手段をを遠隔操作による制御信号により撮影装置本体の駆動機構を操作して移動させて、撮影機内に被写体の適正な撮影範囲を確認しながら撮影することができる。この撮影範囲の決定方法については出願人が先に提案した実願平4-565333号明細書に記載された装置を利用することができる。

【0006】

また、この考案の合成写真撮影装置は、光学装置、画像処理制御部、画面表示装置、印字記録部等を内蔵し、前面に操作盤等を配置してなる撮影装置本体を収納した箱体を形成する撮影装置部と前記撮影装置本体の光学カメラや電子カメラ等の光学装置の撮影領域内で、焦点位置に被撮影者である被写体が配置されるように椅子などが据えつけられた撮影室部とを分割して構成してあるから、個々に工場等で組立形成して、個々の組立品毎に運送車に載置して搬送することができる。従って、合成写真撮影装置を屋内に設置するとき室内の通常の出入口から、個々に容易に搬入することができ、室内において両者の取付面で合体して構成する

ことができる。

【0007】

【実施例】

図1はこの考案にかかるポートレート撮影装置の一実施例の斜視図である。図2はこの考案の他の実施例を示す概略図である。図3はこの考案一実施例の撮影装置本体の正面図である。

1は撮影装置を内蔵する箱体で、この箱体1の内部の上部には室内の照明灯3、光学装置の電子カメラ2やスピーカ4などの電気配線が多くが配置され、裏面側に換気装置が配置されている。この箱体1の中央部には被撮影者の撮影状態を観察確認するとができるモニタ映像を映出すCRT管や液晶板等のモニタ部5が配置され、このモニタ部5の周辺には被写体に向けて撮影時に発光するストロボ発光灯6、6、6が配置されている。また、このモニタ部5の下側に操作盤7を配置してある。この操作盤7には、予め撮影装置の画像処理装置内に画像信号として入力記憶されている風景画像やキャラクタ商品のキャラクタ画像などの背景映像サンプルの見本絵柄7aやこの見本絵柄7aを選択をする選択ボタン7bとを配置してある。

【0008】

これら撮影装置本体8は箱体1内に配置され、この前面側に撮影室9を形成しており、この撮影室9には前記電子カメラ2の撮影範囲内に被写体が配置されるように二人以上腰掛けることができる長椅子10が配置してある。この長椅子10は撮影室9の壁板に固定されている。しかし、この長椅子10は上下に昇降自在に調節可能なようにしてあってもよい。この長椅子10の上側であって、被写体の後側の壁面11は青色に塗装するか、青色布が貼着されていてもよい。この撮影室9の出入口12にはカーテン13が吊設してある。

14は側面に設けた広告板で、内面に蛍光灯などが配置されて照明してある。15は撮影した被写体の映像が画像処理されて印字記録された印画紙を取り出す取出口である。

【0009】

撮影装置本体8内の電子カメラ2は操作盤7に設置された操作杆16によって

上下左右に移動できるように配置されている。

この撮影室9と撮影装置本体8を内蔵する箱体1とは分離可能なようになっている。そしてそれぞれの底面には移動・搬送し易いように複数のキャスタが固着されている。従って、運送に際しては二つに分割して搬送し、設置場所で組立て完成することができる。

被写体がモニタ部5に対面して長椅子10に座った状態で、操作杆16を操作してモニタ部5を見ながら電子カメラ2の光学レンズ群を移動させるとともに光軸を変動させて、上下駆動機構（図示せず）によって上下左右に移動させ、また、倍率を適当に変更しながら、撮影範囲を決定することができる。

【0010】

この考案のポートレート撮影装置を図面に示す実施例に基づいて説明する。

被撮影者はカーテン13を開けて、二人で同時に出入口12から入り、腰掛用の長椅子10に並んで座り、撮影開始操作をモニタ部5の指示メニューに従って操作盤6の操作杆16や選択ボタン7bを操作して、撮影範囲や背景画像の見本絵柄7aの選択を行い、モニタ部5に映し出される合成映像を見ながら、撮影ボタンをONにするとストロボ発光灯6, 6, 6が被写体に向けて発光され二人が同時に撮影される。撮影室9から退出して待機し、数分後、モニタ部5に映し出された合成写真の印字記録された印画紙が取出口から出てくる。

この場合、図1において、二人以上座れる長椅子10が示してあるが、長椅子ではなく図2に示すような二個の椅子が固定してあっても良い。また、これらの椅子は撮影室の内壁面に折り畳んで収納できるように形成してあってもよい。この場合は多くの人数で撮影室9内に入りこんで撮影することができる。

【0011】

この考案のポートレート撮影装置は撮影室の所定位置に長椅子を固定してあるから、操作杆によって電子カメラの光軸の調整を行って、モニタ部5を見ながら撮影範囲を任意に選択することができる。特に、撮影装置内に予め入力されている背景映像やキャラクタ商品のキャラクタ像の画像等の写真から適宜選択し合成写真を作成することができ、このときは被写体の後側の壁面が青色に着色されている必要がある。

また、座った状態で容易に操作盤などが操作できるように椅子の近傍に操作盤が配置されていても良い。この場合は撮影の際には移動可能なように構成して置く必要があり、撮影室9の壁面に収納できるように折畳み可能なように操作盤を設置してもよい。

【0012】

【考案の効果】

以上のようにこの考案のポートレート撮影装置は従来のような単一の椅子ではなく、撮影室内に二人以上座れる椅子が配置されているから、二人または友達同志で二人以上の被写体が並んで仲良く撮影することができる。しかも、椅子は固定されていても撮影範囲は撮影装置を移動させて撮影範囲を任意に変更することができる。